

八光ガイドワイヤーNV

再使用禁止

【禁忌・禁止】

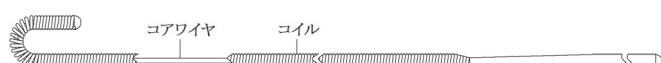
再使用禁止

【形状・構造及び原理等】

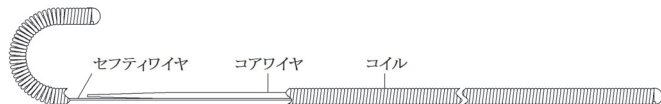
本品は、イントロデューサ針の内腔より挿入し、体内に挿入するカテーテル、チューブなどの位置調整及び移動の補助として使用する。

<構造図(代表図)>

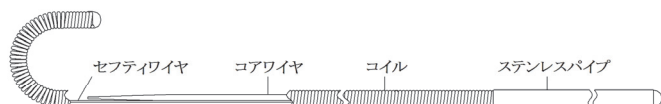
CWタイプ



ACタイプ



PTタイプ



その他の先端形状

先端形状：
ストレートタイプ先端形状：
アングルタイプ

挿入補助具



- 1) コイル：ステンレス鋼(ニッケル・クロム含有)またはPt合金
- 2) コアワイヤ、セフティワイヤおよびステンレスパイプ：ステンレス鋼(ニッケル・クロム含有)

【使用目的又は効果】

体内に挿入するカテーテル、チューブ等の位置調整及び移動の補助のために一時的に使用する(血管内に挿入して使用することは除く)。

【使用方法等】

- 1) イントロデューサ針を目的部位に穿刺する。
- 2) 本品にセットされた挿入補助具を、本品先端まで進める。
- 3) イントロデューサ針の針基に挿入補助具を押し当て、本品の進入方向を超音波画像上で確認しながら、本品をイントロデューサ針の針内を通して、目的部位に挿入する。
- 4) 十分に本品が挿入されたところで、イントロデューサ針を抜去する。
- 5) X線透視下で本品が適正な位置にあることを確認した後、本品に沿ってダイレータによる拡張やドレナージカテーテルの挿入を行う。
- 6) ダイレータ又はドレナージカテーテルの挿入が完了したら、本品をゆっくりと抜去する。又、本品の使用時間は、24時間以内とする。

<使用方法等に関連する使用上の注意>

- 1) 使用の際には、汚染に十分注意すること。
- 2) 先端部は特に柔軟になっているため、慎重に取り扱うこと。
[本品の曲がり、破損、破断の恐れがある。]

- 3) 操作中は、X線透視下又は超音波画像上により、本品先端の動きや位置を確認するとともに、本品に折れや曲がり等の異常がないことを確認すること。
- 4) 操作中に異常を感じた場合は、操作を中止し、その原因をX線透視下で確認すること。
[組織の損傷、裂傷や、本品の曲がり、破損、破断の恐れがある。]
- 5) イントロデューサ針の刃面から本品が突出した状態で、本品を引き戻さないこと。
[本品の破損、破断の恐れがある。]
- 6) 本品を鉗子等で強く掴まないこと。
[本品の曲がり、破損、破断の恐れがある。]

【使用上の注意】

<不具合・有害事象>

手技に伴い、一般的な不具合や有害事象が発生する恐れがある。有害事象が発生した場合は術者の知見に基づき、適切な処置を行うこと。

- 1) その他の不具合
 - ① 破損・破断
- 2) 重大な有害事象
 - ① 感染
- 3) その他の有害事象
 - ① 穿孔
 - ② 出血
 - ③ 組織損傷
 - ④ アレルギー反応
 - ⑤ 体内遺残

【保管方法及び有効期間等】

<保管方法>

水ぬれ、直射日光、高温多湿を避け保管すること。

<有効期間>

箱に記載している使用期限を参照のこと。(自己認証による)

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

<製造販売業者>

株式会社八光
TEL 026-275-0121

<製造業者>

株式会社八光

販売窓口:

東京都文京区本郷三丁目42-6
TEL 03-5804-8500